

伏せておきたかった優勝

丸山暢久（4組）

毎年行われる小金井カントリークラブ（東京都小平市）での関東同窓会ゴルフコンペが今年も10月23日（水）に開催された。このコンペは故白井透さん（60期、元関東同窓会会長）と同期でこのメンバーである黒澤博身さんとで60期中心の同窓生有志により始まり、数年前から関東同窓会コンペと一体化した。私は第2回コンペから参加してきた。以前は8月に割安で開催していたが、この2、3年は暑さのせいで10月になった。10月でもメンバーの黒澤さんや和田裕さん（48期）のお陰で安い料金（と言っても3万円弱）でプレイが出来る。発足時の幹事が白井さんであったこともあり、参加25名の内、60期が8名、因みに65期は私一人。

以前は同期も3、4人が参加していたが一人減り二人減りと寂しくなった。

私の組は最年長の掛川十次郎さん（52期）、篠塚嗣雄さん（60期）と最も若い竹村淳一さん（103期）。掛川さんは今回初参加だがお住まいが東大和とかで近く、お元気だが腰が悪いので普通の速さで歩けないため、2ホール目から一人用のカートで進行することになった。小金井CCは特別な事情がない限り18ホール全て歩きである。90歳位ながらしっかりスイングされ、自分が90歳の時にあの様に出来るのかわが身に投影して見ている。

篠塚さんは朝4時に大町市を出発して約4時間近く運転して参加された。聞けばスキーが大好きでスキーをやりたいから大町に居住されたとの事。また、毎日3km程ランニングをしているそうで80歳とは思えない馬力。ドライバーは私も負けそうなほど飛ばすので驚くばかり。やはり下半身を鍛えないと老化が進むのだろう。竹村さんは未だ40歳前なので凄く飛ばす。

私も同じ歳頃の時は300ヤード近く飛ばしたものだと思えば改めて老人になった悲哀を感じるばかり。

それでもほぼ毎日、夜寝る前に100回前後のスクワットをして下半身を鍛えている。これをやろうと思った切っ掛けは5、6年前に信州でゴルフをしていた時、歳は同じ位だが細身ながらスイングがしっかりしている人に、何か運動をしているのか聞いたところ、スクワットを300回/日やっているとのこと。ビックリ仰天！！当時は私なぞ10回～30回もやれば汗だけで一杯。当時、私はやたらとスライスが酷くなり理由が分からずにスコアも悪化していた。思い立って私も300回は無理だが100回を目標にした。最初の頃は50回もやると音を上げていたが、半年から1年位継続していたら次第に慣れてきて、2年位前からスイングしても脚がぶれなくなった。丁度その頃からスライス病が減り、今は余程変な打ち方をしない限り球筋が良くなった。自慢ではないが私は今でも正式ルールで救われる以外は常にノータッチ。今年はこちらまで12ラウンド程度だが86が2回あってベスト。アベレージ92.3と昨年より少し悪い。その上、今回は恥ずかしながら最悪の98も叩き、プレイ中も「今日はずいぶん」と思う場面が数多く、ナイス2打目でバーディーを狙えるかな？と思うと僅かに短く手前のバンカーに捕まる等、ついキャディーさんに愚痴っぽい科白が出てしまっていた。まあ多少のハンディが効いて真ん中位ならいいか、と順位なぞ全く気にもしないで風呂に入り、パーティー会場に行った。

暫くしたら幹事の古畑克巳さん（69期）が順位表を持ってきて何やら言う。見てビックリとはこのことか！と、恥ずかしくも、ダブルペリア方式でハンディを25.2も貰って準優勝の古畑さんと僅差で私が優勝だった。

今回は優勝盾無しで賞金だけ。そういえば、朝来た時に古畑さんが「丸山さん、前回の優勝盾を石井光春さん（54期）が自宅に持ち帰ったきりで不参加なので盾は無いです」と言うので、私も「（同窓会コンペ創設者の）石井さんに良い記念になったのだから差し上げたままでいいんじゃないの」と会話を思い出した。“それが繋がっていたのか！！”と因縁めいたものを感じた次第。（私は第8回の時に優勝した盾が何処かにあるので）

再度90歳の掛川さんに登場して貰う。掛川さんは130で回り、見事メーカーに。私と掛川さんで上と下を固めた訳だ。

扱、60期の面々はといえば、この後皆で集まって池袋のお店で同期会を開催するとのこと。一緒に回った篠塚さんも勿論参加して明日、大町の家路に就くそうだ。4時間もかけて来るほどゴルフ好きであるしご自身も穂高カントリークラブのメンバーとのことだからお元気そのもの。

65期の皆さん！老け込むにはまだ早いよ。90歳になって初参加の大先輩を見習ってコンペや同期会にどんどん参加しようではありませんか！！



スタート前の集合写真



真は関東同窓会HPから

優勝 丸山暢久さん（65期）

（2024年10月30日記）

以上